

第4学年 社会

第4学年の学習到達目標

- (1) 地域の産業や消費生活の様子，健康な生活や安全を守るための諸活動について理解できるようにし，地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- (2) 地域社会の地理的環境，人々の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし，地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象を観察，調査し，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，調べたことを表現するとともに，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力を育てるようにする。

第4学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	1 けんこうなくらしを守る (1) ぐらしをささえる水 (2) 電気とぐらし (3) ガスとぐらし (4) ごみのしまつ	人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスを確保する事業は、組織的・計画的に進められていることを理解し、健康な生活の維持向上のために自分ができることに進んで取り組もうとする。 飲料水、電気、ガスを確保するための事業や施設・設備の様子を調べ、地域の人々の健康の維持向上に役立っていることを考える。 身近な地域で行われているごみの処理と利用について関心をもち、意欲をもって見学や調査をして調べ、これらの事業が地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることに気づく。 家庭や工場などから出されるごみの処理の様子を見学し、調べたことを絵やグラフなどにわかりやすく表現し、事業の対策や人々の働きについて具体的に考える。	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理 南区清掃工場の見学、家庭から出るごみの種類や量の調査 これらの対策や事業は地域の人々の健康や生活の維持と向上に役立っていること ・飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり ・これらの対策や事業は計画的、協力的に進められていること
	2 ぐらしのうつりかわり (1) 古い道具と人々のぐらし	昔と今の道具の違いを通して、昔と今とでは人々のぐらしの様子が変化してきていることを理解するとともに、現在の自分たちの歴史的背景に関心をもち。 古い道具の様子や使い方を具体的に調べ、古い道具には昔の人々の知恵と工夫があらわれていることに気づき、当時の人々は生活の向上を願ってきたことを考える。	地域の人々の生活 郷土資料館、佐々木伝承館、地域の残る史跡の見学、調査、年表にまとめる 人々の生活の変化や人々の願い 先人の働きや苦心 ・古くから残る道具と、それらを使っていたころの暮らしの様子 ・矢野町に残る文化財や年中行事 ・桑原卯之助が作った八木用水 ・千田貞暁が作った広島港
後期	(2) 文化財や年中行事	身近な地域の歴史を伝えるものに気づくとともに、それらを通して、人々が地域のぐらしをよりよくしようと願い、工夫・努力してきたことを理解する。 歴史を伝えるものを見つけ出したり調べたりすることを通して、人々がどのような願いや思いをもってぐらしていたかについて考える。	
	(3) 地域の開発につくした人びと 産業や文化の発展につくした人びと	身近な地域に古くから残る用水路や港が果たしている役割を理解するとともに、それを作った人々の苦労や願い、また地域をよりよくしようとした思いを理解する。 地域の発展に尽くした先人に関心をもち、実際に史跡や資料館を見学したり、資料を活用したりして、その働きや苦心を考える。	
	3 わたしたちの県の様子 (1) 広島市の位置 (2) 広島県の様子	県内における自分たちの住んでいる広島市の地理的位置や県全体の土地の様子、交通の様子を調べ、県の地形や産業などの特色を考える。 広島県の学習に係る資料を集めたり、地形図から読み取ったりしたことを白地図に表現するなどの具体的な活動や作業を通して、県全体の特色を考えることができるようにする。	広島県の様子 資料活用、白地図にまとめる 広島県の特色 ・県内における自分たちの市の位置 ・県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子、主な都市の位置

後期	(3) 広島県のいろいろな地域	県内の海辺や平地、山地、台地に住む人々の生活の様子や昔から続いている伝統工業の様子を調べ、県の特徴ある地域の様子を考えることができる。 広島県の学習に関係する資料を集めたり、地形図から読み取ったりしたことを白地図に表現するなどの具体的な作業や活動を通して、県の特徴ある地域の人々の生活を考えることができるようにする。	・産業や地形条件から見て県内の特色ある地域の人々の生活 ・人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかわり
	(4) 広島県の広がり 広島県と日本各地とのつながり 広島県と外国とのつながり	県内の特色や県庁所在地としての広島市の役割、国内の他地域や外国とのつながりを理解し、発展していく県の姿を考えることができる。 これまでの広島県の学習に関係する資料を集めたり、地形図を読み取ったりして調べたことをまとめて、県の特徴や人々の生活を考えることができるようにする。	

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【社会的事象への関心・意欲・態度】 地域における社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとする。</p> <p>【社会的な思考・判断】 地域における社会的事象から学習の問題を見いだして追究・解決し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連について考え、適切に判断する。</p> <p>【観察・資料活用の技能】 地域における社会的事象を的確に観察、調査したり、地図や各種の具体的な資料を効果的に活用したりするとともに、調べた過程や結果を工夫して表現する。</p> <p>【社会的事象についての知識・理解】 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や安全を守るための諸活動、地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>社会的事象への関心・意欲・態度については、地域の一員としての自覚、地域に愛情をもとうとしている意欲・態度を授業や提出物で評価します。</p> <p>社会的な思考・判断については、調べることを中心に、資料の収集 資料の活用 資料に基づいて考え、他の人の発表を取り入れる 関連づけてまとめる『考える』の各過程を大切に評価していきたいと思います。評価する場面として、ペーパーテスト、発言内容、新聞内容、質問内容からします。</p> <p>観察・資料活用の技能については、社会見学、インターネット、矢野町のパンフレットなどからの資料集め、質問内容、メモ、新聞作りの内容などから評価します。</p> <p>社会的事象についての知識・理解については、地域(矢野町、広島市、広島県)の様子や先人の働きなどを理解しているかを、発表内容やペーパーテストなどで評価します。</p>
--	--

特色ある学習方法

- (1) 見学、聞き取り調査、インターネットの活用などを通して調べていきます。
- (2) 地域の方をゲストティチャーに迎え、より学習を深めていきます。

使用教材等

教科書「新しい社会」(東京書籍)、地図帳(帝国書院)、副読本「わたしたちの広島市」、地図(広島市・県)
パソコン、パンフレットなど

留意事項

- (1) いろいろなところに社会見学に行きます。集団のマナーや交通安全に気をつけ、学習を充実させていきたいと思いません。
- (2) 家族の人に多くの質問をしたいと思います。気軽にこたえてあげてください。一緒に調べることも楽しみの一つだと思います。